

#### ○安田学長代理

皆さん、おはようございます。先ほど御紹介いただきました、山形大学の安田でございます。本日はお忙しいところ、本シンポジウムに多くの皆さんがお集まりいただき誠にありがとうございました。山形大学を代表しまして、ひとこと御挨拶をさせていただきます。まず、先ほど御挨拶いただきました、共催させていただいております、大正大学の塚先生はじめ、関係各位の皆さんに心から御礼を申し上げるところでございます。どうもありがとうございました。

先ほど塚先生に御紹介いただいたので、私は目的をまず簡単に紹介させていただいて、その次に基盤力テストの心を紹介させていただいて、挨拶に代えさせていただきます。まず今日の目的でございますけれども、先ほど御紹介いただきました、日本で初めての基盤力テスト、その内容、さらには活用・取組について御紹介させていただいて、こういった話題提供を中心に、大学教育に関する多面的な情報交換・意見交換をさせていただく、そういったところが目的でございます。ひとつよろしく願いいたします。

この基盤力テストの心でございますけれども、専門的な知識である学問基盤力、リーダーシップを発揮しつつ人間力を育成する実践地域基盤力、さらには英語や日本語以外の言語を使って国際化にチャレンジする国際基盤力、こういった3つの基盤力を測定しようというものです。この基盤力テストを通じて入学時、1年次、さらには3年次のときにチェックをする。何を目標しているかと言いますと、自分の多面的な能力、学生諸君の多面的な能力を自ら振り返る。自分に欠けている能力を学ぶ。学びの習慣を持っていただく。そういったところがこの基盤力テストの心でございます。

最後になりますが、今日お集まりのすべての皆さんと、共催させていただきます、大正大学の関係各位の皆さん、そしてこのシンポジウムを企画運営していただく、山形大学の教職員の皆さんに、心から御礼を申し上げまして、甚だ簡単でございますが、御挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。ありがとうございました。

#### ○司会

## 報告の構成

### 1. 基盤力テストの概要と実施状況

報告者： 千代 勝実(山形大学 学術研究院 教授)

### 2. 分析結果Ⅰ： 学問基盤力

報告者： 安田 淳一郎(山形大学 学術研究院 准教授)

### 3. 分析結果Ⅱ： 実践地域基盤力

報告者： 藤原 宏司(山形大学 学術研究院 教授)

### 4. 分析結果の活用と質保証強化

報告者： 浅野 茂(山形大学 学術研究院 教授)

安田先生、ありがとうございます。では、これから報告事項に入らせていただきますが、事前にスケジュールと配布資料について確認させていただきます。スケジュールは、こちらにございますように、このあと4つの報告と、最後に総合討論という形で組みさせていただきます。配布資料でございますが、皆さま

まのお手元の封筒の中に、まずこういう冊子、本日のタイトルとグリーンの冊子がございます。併せて水色の用紙のアンケートを準備させていただいておりますので、こちらは終了後に皆様の忌憚のない御意見をお聞きいただきまして、次回のシンポジウムの参考にさせていただきますと思います。お手数おかけいたしますが、是非御協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、後方よりカメラ等で撮影をさせていただいております。また、議事録を作成しますので、録音等させていただいておりますが、皆様の個人名などを出すことは一切いたしませんので、御安心してお聞きいただければと思います。資料に落丁等ございましたら、遠慮なく受付のスタッフにお申し出いただきましたら交換させていただきます。

スライドが若干見にくいので、このあと報告に入りましたら電気を落とさせていただきます。その際、今回の配布資料ではスライドを上配置し、下半分を空けていますので、是非メモ等に活用いただき、このあとの総合討論などの質問もメモしていただけるとありがたいです。

